



平成 25 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 大場 典彦
(J A S D A Q ・ コード 7918)
問い合わせ先 役職・氏名 取締役 今井 将和
電 話 番 号 03-5155-6801

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」

の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 6 日付けにて「誤謬により不適切な会計処理が行われたことの判明及び社内調査委員会の設置についてのお知らせ」を公表いたしましたとおり、過去の会計処理に一部誤りがあることが判明し、本件に関して社内調査委員会による調査を実施してまいりました。この調査結果につきましては、本日公表いたしました「社内調査報告書の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

その結果、当社が平成 24 年 11 月 14 日に公表いたしました「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」を訂正することとなりましたので、お知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に上るため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線__を付して表示しております。

以 上

【訂正後】



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
コード番号 7918 URL <http://www.via-hd.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大場 典彦
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)能仁 一朗

TEL 03-5155-6801

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,251	△7.4	891	6.7	716	3.0	337	△41.7
24年3月期第2四半期	15,394	△18.4	835	141.0	694	197.7	578	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 299百万円(△44.7%) 24年3月期第2四半期 541百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	13.87	—
24年3月期第2四半期	23.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	22,375	3,550	15.9	47.31
24年3月期	23,498	3,307	14.1	34.84

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,550百万円 24年3月期 3,307百万円

(注)「1株当たり純資産」の算定においては、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を(期末の発行済み株式数－期末自己株式数)で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△2.6	1,400	△3.0	1,100	△5.5	650	—	26.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、 除外一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	24,324,700株	24年3月期	24,319,700株
25年3月期2Q	2,426株	24年3月期	2,426株
25年3月期2Q	24,320,618株	24年3月期2Q	24,317,274株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

1. 個別業績の概要

平成25年3月期第2四半期の個別業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	294	△48.3	△82	—	△160	—	△102	—
24年3月期第2四半期	569	△4.3	71	△37.6	32	△62.5	△138	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△4.21	—
24年3月期第2四半期	△5.71	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	18,180	5,303	29.2	119.36
24年3月期	19,475	5,496	28.2	124.89

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,303百万円 24年3月期 5,496百万円

(注) 「1株当たり純資産」の算定においては、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を(期末の発行済み株式数－期末自己株式数)で除して算出しております。

2. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	25,000.00	25,000.00
25年3月期（予想）	—	—		50,000.00	50,000.00

(注) A種優先株式は、平成23年9月に発行しております。発行時に定められたA種優先株式発行要領に基づき、平成24年3月期より配当を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、一部に緩やかな回復基調が見られるものの、消費税増税議論に伴う消費マインドの低下、欧州債務危機問題に伴う円高の長期化などから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。当社の中核事業である外食業界においても、長引くデフレ経済下において低価格志向が継続し、厳しい経営環境となりました。

こうした厳しい経営環境にありながらも、中期的な成長と拡大に向け「既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上」「本部機能の集中化による価値競争力の向上」「内部統制の推進によるマネジメント力の向上」の3つを基本戦略とし、景気低迷期における収益体質の強化をさらに進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は14,251百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業利益は891百万円（同6.7%増）、経常利益は716百万円（同3.0%増）、四半期純利益は337百万円（同41.7%減）となりました。なお、前年同四半期には持分変動利益（特別利益）588百万円が含まれております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間における外食サービス事業においては、食の安全・安心を第一に置きつつ、継続的なQSCA向上への取り組みや、リニューアル等による既存店舗の付加価値向上を進めてまいりました。また、大型居酒屋業態においては、宴会メニューの充実を図るほか、お昼の宴会プランを設定するなど、店舗あたりの売上確保を進めてまいりました。一方で光熱費の上昇や食材価格の高騰によるコストアップを吸収するため、ワークスケジュール管理をはじめとする店舗マネジメントの精度向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は12,731百万円（前年同四半期比8.4%減）となりましたが、営業利益は947百万円（同9.8%増）となりました。なお、前年同四半期の実績には、前年5月に連結除外となった(株)NBKの実績が含まれております。

当第2四半期連結累計期間における印刷流通事業については、業界を取り巻く経営環境は依然として厳しいものの、内製化率の向上に積極的に取り組み、収益体質の改善が進みました。その結果、売上高は1,520百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は111百万円（同166.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,123百万円減少し、22,375百万円となりました。これは、有形固定資産が226百万円減少したこと、敷金及び保証金が92百万円減少したこと、現金及び預金が294百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債の部では、借入金が907百万円減少したこと、割賦未払金が105百万円減少したこと、店舗閉鎖損失引当金が64百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,366百万円減少し、18,824百万円となりました。

純資産の部は、資本剰余金が剰余金の配当により60百万円減少したこと、四半期純利益により利益剰余金が337百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ243百万円増加し、3,550百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイント上がり15.9%となり、1株当たり純資産は47円31銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況分析)

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が679百万円、減価償却費580百万円、のれん償却費71百万円、減損損失9百万円等により1,129百万円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、既存店のリニューアルや新規出店等に伴う固定資産の取得による支出330百万円、敷金・保証金の支払32百万円等により、261百万円の資金支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出907百万円、長期未払金の返済による支出105百万円等により、1,162百万円の資金支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年3月期の連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、平成24年5月15日付「決算短信」の公表数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,148	3,853
受取手形及び売掛金	1,081	985
商品及び製品	36	38
仕掛品	54	66
原材料及び貯蔵品	184	178
繰延税金資産	89	102
その他	505	374
貸倒引当金	△42	△19
流動資産合計	6,057	5,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,457	6,401
機械装置及び運搬具（純額）	445	445
工具、器具及び備品（純額）	506	467
リース資産（純額）	369	311
土地	1,746	1,746
建設仮勘定	80	9
有形固定資産合計	9,607	9,381
無形固定資産		
のれん	2,212	2,168
その他	408	357
無形固定資産合計	2,620	2,525
投資その他の資産		
投資有価証券	969	902
長期貸付金	21	19
敷金及び保証金	3,178	3,085
繰延税金資産	979	822
その他	53	77
貸倒引当金	△4	△32
投資その他の資産合計	5,197	4,874
固定資産合計	17,425	16,781
繰延資産	15	13
資産合計	23,498	22,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,023	1,943
短期借入金	1,988	1,895
未払金	495	487
未払費用	685	625
未払法人税等	78	181
賞与引当金	220	210
店舗閉鎖損失引当金	113	48
その他	602	509
流動負債合計	6,205	5,901
固定負債		
長期借入金	12,895	12,080
その他	1,090	841
固定負債合計	13,985	12,922
負債合計	20,190	18,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765	2,767
資本剰余金	5,045	4,987
利益剰余金	<u>△4,359</u>	<u>△4,021</u>
自己株式	△1	△1
株主資本合計	<u>3,449</u>	<u>3,731</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△126	△168
繰延ヘッジ損益	△16	△12
その他の包括利益累計額合計	<u>△142</u>	<u>△180</u>
純資産合計	<u>3,307</u>	<u>3,550</u>
負債純資産合計	<u>23,498</u>	<u>22,375</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	15,394	14,251
売上原価	5,407	5,058
売上総利益	9,986	9,192
販売費及び一般管理費	9,150	8,300
営業利益	835	891
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	10
その他	53	42
営業外収益合計	63	53
営業外費用		
支払利息	197	180
その他	6	48
営業外費用合計	204	229
経常利益	694	716
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	20	—
持分変動利益	588	—
店舗閉鎖損失戻入益	—	7
その他	4	—
特別利益合計	615	7
特別損失		
固定資産除却損	3	31
減損損失	343	9
店舗閉鎖損失引当金繰入額	61	—
借入契約変更に伴う一時費用	172	—
その他	12	2
特別損失合計	593	43
税金等調整前四半期純利益	716	679
法人税、住民税及び事業税	46	173
法人税等調整額	91	168
法人税等合計	138	342
少数株主損益調整前四半期純利益	578	337
四半期純利益	578	337

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	578	337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△41
繰延ヘッジ損益	△23	3
その他の包括利益合計	△37	△37
四半期包括利益	541	299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	541	299
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	716	679
減価償却費	650	580
のれん償却額	95	71
繰延資産償却額	0	3
減損損失	343	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	54	△9
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△89	△64
新株予約権発行に伴うみなし人件費	2	4
受取利息及び受取配当金	△9	△10
支払利息	197	180
持分変動損益(△は益)	△588	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△20	—
固定資産除売却損益(△は益)	0	31
売上債権の増減額(△は増加)	△13	67
たな卸資産の増減額(△は増加)	12	△8
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△66	53
仕入債務の増減額(△は減少)	95	△79
未払消費税等の増減額(△は減少)	18	△7
その他の流動負債の増減額(△は減少)	182	△34
その他	△53	△77
小計	1,506	1,396
利息及び配当金の受取額	9	10
利息の支払額	△219	△197
法人税等の支払額	△5	△79
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,291	1,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△167	△330
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△7	△11
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
子会社株式の売却による収入	100	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	118	△2
長期貸付金の回収による収入	1	1
長期未収入金の増減額(△は増加)	3	3
敷金及び保証金の差入による支出	△18	△32
敷金及び保証金の回収による収入	362	112
預り保証金の返還による支出	△6	△0
預り保証金の受入による収入	3	—
その他	66	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	458	△261

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△390	—
長期借入金の返済による支出	△431	△907
長期未払金の返済による支出	△185	△105
リース債務の返済による支出	△77	△86
社債の償還による支出	△10	—
株式の発行による収入	2,400	0
配当金の支払額	△0	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,305	△1,162
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,056	△294
現金及び現金同等物の期首残高	805	4,148
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△249	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,612	3,853

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービス事業	印刷流通事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,901	1,493	15,394	—	15,394	—	15,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	42	54	96	—	96	△96	—
計	13,943	1,547	15,491	—	15,491	△96	15,394
セグメント利益	862	41	904	—	904	△68	835

(注) 1. セグメント利益の調整額△68百万円には、セグメント間取引消去525百万円、のれんの償却額△95百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△497百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、343百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービス事業	印刷流通事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,731	1,520	14,251	—	14,251	—	14,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	68	68	—	68	△68	—
計	12,731	1,588	14,320	—	14,320	△68	14,251
セグメント利益	947	111	1,058	—	1,058	△166	891

(注) 1. セグメント利益の調整額△166百万円には、セグメント間取引消去281百万円、のれんの償却額△71百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△377百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、9百万円の減損損失を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

【訂正前】



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月14日

上場会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
コード番号 7918 URL <http://www.via-hd.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大場 典彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 能仁 一朗

TEL 03-5155-6801

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,251	△7.4	859	7.2	683	3.5	308	△45.5
24年3月期第2四半期	15,394	△18.4	802	131.3	661	183.2	566	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 270百万円 (△48.8%) 24年3月期第2四半期 528百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	12.69	—
24年3月期第2四半期	23.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	22,379	3,555	15.9	47.49
24年3月期	23,531	3,340	14.2	36.20

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,555百万円 24年3月期 3,340百万円

(注) 「1株当たり純資産」の算定においては、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を(期末の発行済み株式数－期末自己株式数)で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△2.6	1,400	1.8	1,100	0.3	650	—	26.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、 除外一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	24,324,700株	24年3月期	24,319,700株
25年3月期2Q	2,426株	24年3月期	2,426株
25年3月期2Q	24,320,618株	24年3月期2Q	24,317,274株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

1. 個別業績の概要

平成25年3月期第2四半期の個別業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年3月期第2四半期	294	△48.3	△82	—	△160	—	△102	—
24年3月期第2四半期	569	△4.3	71	△37.6	32	△62.5	△138	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△4.21	—
24年3月期第2四半期	△5.71	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
25年3月期第2四半期	18,180	5,303	29.2	119.36
24年3月期	19,475	5,496	28.2	124.89

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,303百万円 24年3月期 5,496百万円

(注) 「1株当たり純資産」の算定においては、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を(期末の発行済み株式数－期末自己株式数)で除して算出しております。

2. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	25,000.00	25,000.00
25年3月期（予想）	—	—		50,000.00	50,000.00

(注) A種優先株式は、平成23年9月に発行しております。発行時に定められたA種優先株式発行要領に基づき、平成24年3月期より配当を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、一部に緩やかな回復基調が見られるものの、消費税増税議論に伴う消費マインドの低下、欧州債務危機問題に伴う円高の長期化などから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。当社の中核事業である外食業界においても、長引くデフレ経済下において低価格志向が継続し、厳しい経営環境となりました。

こうした厳しい経営環境にありながらも、中期的な成長と拡大に向け「既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上」「本部機能の集中化による価値競争力の向上」「内部統制の推進によるマネジメント力の向上」の3つを基本戦略とし、景気低迷期における収益体質の強化をさらに進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は14,251百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業利益は859百万円（同7.2%増）、経常利益は683百万円（同3.5%増）、四半期純利益は308百万円（同45.5%減）となりました。なお、前年同四半期には持分変動利益（特別利益）588百万円が含まれております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間における外食サービス事業においては、食の安全・安心を第一に置きつつ、継続的なQSCA向上への取り組みや、リニューアル等による既存店舗の付加価値向上を進めてまいりました。また、大型居酒屋業態においては、宴会メニューの充実を図るほか、お昼の宴会プランを設定するなど、店舗あたりの売上確保を進めてまいりました。一方で光熱費の上昇や食材価格の高騰によるコストアップを吸収するため、ワークスケジュール管理をはじめとする店舗マネジメントの精度向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は12,731百万円（前年同四半期比8.4%減）となりましたが、営業利益は947百万円（同9.8%増）となりました。なお、前年同四半期の実績には、前年5月に連結除外となった(株)NBKの実績が含まれております。

当第2四半期連結累計期間における印刷流通事業については、業界を取り巻く経営環境は依然として厳しいものの、内製化率の向上に積極的に取り組み、収益体質の改善が進みました。その結果、売上高は1,520百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は111百万円（同166.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,151百万円減少し、22,379百万円となりました。これは、有形固定資産が226百万円減少したこと、敷金及び保証金が92百万円減少したこと、現金及び預金が294百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債の部では、借入金が907百万円減少したこと、割賦未払金が105百万円減少したこと、店舗閉鎖損失引当金が64百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,366百万円減少し、18,824百万円となりました。

純資産の部は、資本剰余金が剰余金の配当により60百万円減少したこと、四半期純利益により利益剰余金が308百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ214百万円増加し、3,555百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.7ポイント上がり 15.9%となり、1株当たり純資産は47円49銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況分析)

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が647百万円、減価償却費580百万円、のれん償却費103百万円、減損損失9百万円等により1,129百万円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、既存店のリニューアルや新規出店等に伴う固定資産の取得による支出330百万円、敷金・保証金の支払32百万円等により、261百万円の資金支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出907百万円、長期未払金の返済による支出105百万円等により、1,162百万円の資金支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年3月期の連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、平成24年5月15日付「決算短信」の公表数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,148	3,853
受取手形及び売掛金	1,081	985
商品及び製品	36	38
仕掛品	54	66
原材料及び貯蔵品	184	178
繰延税金資産	89	102
その他	505	374
貸倒引当金	△42	△19
流動資産合計	6,057	5,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,457	6,401
機械装置及び運搬具（純額）	445	445
工具、器具及び備品（純額）	506	467
リース資産（純額）	369	311
土地	1,746	1,746
建設仮勘定	80	9
有形固定資産合計	9,607	9,381
無形固定資産		
のれん	2,151	2,075
その他	408	357
無形固定資産合計	2,559	2,432
投資その他の資産		
投資有価証券	969	902
長期貸付金	21	19
敷金及び保証金	3,178	3,085
繰延税金資産	1,073	919
その他	53	77
貸倒引当金	△4	△32
投資その他の資産合計	5,291	4,971
固定資産合計	17,459	16,786
繰延資産	15	13
資産合計	23,531	22,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,023	1,943
短期借入金	1,988	1,895
未払金	495	487
未払費用	685	625
未払法人税等	78	181
賞与引当金	220	210
店舗閉鎖損失引当金	113	48
その他	602	509
流動負債合計	6,205	5,901
固定負債		
長期借入金	12,895	12,080
その他	1,090	841
固定負債合計	13,985	12,922
負債合計	20,190	18,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765	2,767
資本剰余金	5,045	4,987
利益剰余金	<u>△4,325</u>	<u>△4,017</u>
自己株式	△1	△1
株主資本合計	<u>3,483</u>	<u>3,735</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△126	△168
繰延ヘッジ損益	△16	△12
その他の包括利益累計額合計	<u>△142</u>	<u>△180</u>
純資産合計	<u>3,340</u>	<u>3,555</u>
負債純資産合計	<u>23,531</u>	<u>22,379</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	15,394	14,251
売上原価	5,407	5,058
売上総利益	9,986	9,192
販売費及び一般管理費	9,184	8,333
営業利益	802	859
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	10
その他	53	42
営業外収益合計	63	53
営業外費用		
支払利息	197	180
その他	6	48
営業外費用合計	204	229
経常利益	661	683
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	20	—
持分変動利益	588	—
店舗閉鎖損失戻入益	—	7
その他	4	—
特別利益合計	615	7
特別損失		
固定資産除却損	3	31
減損損失	343	9
店舗閉鎖損失引当金繰入額	61	—
借入契約変更に伴う一時費用	172	—
その他	12	2
特別損失合計	593	43
税金等調整前四半期純利益	682	647
法人税、住民税及び事業税	46	173
法人税等調整額	70	164
法人税等合計	116	338
少数株主損益調整前四半期純利益	566	308
四半期純利益	566	308

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	566	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△41
繰延ヘッジ損益	△23	3
その他の包括利益合計	△37	△37
四半期包括利益	528	270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	528	270
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	682	647
減価償却費	650	580
のれん償却額	129	103
繰延資産償却額	0	3
減損損失	343	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	54	△9
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△89	△64
新株予約権発行に伴うみなし人件費	2	4
受取利息及び受取配当金	△9	△10
支払利息	197	180
持分変動損益(△は益)	△588	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△20	—
固定資産除売却損益(△は益)	0	31
売上債権の増減額(△は増加)	△13	67
たな卸資産の増減額(△は増加)	12	△8
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△66	53
仕入債務の増減額(△は減少)	95	△79
未払消費税等の増減額(△は減少)	18	△7
その他の流動負債の増減額(△は減少)	182	△34
その他	△53	△77
小計	1,506	1,396
利息及び配当金の受取額	9	10
利息の支払額	△219	△197
法人税等の支払額	△5	△79
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,291	1,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△167	△330
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△7	△11
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
子会社株式の売却による収入	100	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	118	△2
長期貸付金の回収による収入	1	1
長期未収入金の増減額(△は増加)	3	3
敷金及び保証金の差入による支出	△18	△32
敷金及び保証金の回収による収入	362	112
預り保証金の返還による支出	△6	△0
預り保証金の受入による収入	3	—
その他	66	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	458	△261

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△390	—
長期借入金の返済による支出	△431	△907
長期未払金の返済による支出	△185	△105
リース債務の返済による支出	△77	△86
社債の償還による支出	△10	—
株式の発行による収入	2,400	0
配当金の支払額	△0	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,305	△1,162
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,056	△294
現金及び現金同等物の期首残高	805	4,148
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△249	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,612	3,853

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービス事業	印刷流通事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,901	1,493	15,394	—	15,394	—	15,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	42	54	96	—	96	△96	—
計	13,943	1,547	15,491	—	15,491	△96	15,394
セグメント利益	862	41	904	—	904	△102	802

(注) 1. セグメント利益の調整額△102百万円には、セグメント間取引消去525百万円、のれんの償却額△129百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△497百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、343百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービス事業	印刷流通事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,731	1,520	14,251	—	14,251	—	14,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	68	68	—	68	△68	—
計	12,731	1,588	14,320	—	14,320	△68	14,251
セグメント利益	947	111	1,058	—	1,058	△199	859

(注) 1. セグメント利益の調整額△199百万円には、セグメント間取引消去281百万円、のれんの償却額△103百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△377百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、9百万円の減損損失を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。